

## 令和元年度 石狩市教育委員会会議（11月定例会）会議録

令和元年11月12日（火）  
第2委員会室

開会 13時30分

### ○委員の出欠状況

| 委員氏名        | 出席 | 欠席 | 備考      |
|-------------|----|----|---------|
| 教育長 佐々木 隆 哉 | ○  |    |         |
| 委員 門 馬 富士子  | ○  |    | 教育長職務代理 |
| 委員 松 尾 拓 也  |    | ○  |         |
| 委員 山 本 由美子  | ○  |    |         |
| 委員 穴 水 正    | ○  |    |         |

### ○会議出席者

| 役 職 名           | 氏 名     |
|-----------------|---------|
| 生涯学習部長          | 安 崎 克 仁 |
| 生涯学習部次長（教育指導担当） | 佐 藤 辰 彦 |
| 生涯学習部次長（社会教育担当） | 東 信 也   |
| 総務企画課長          | 松 永 実   |
| 学校教育課長          | 佐々木 宏 嘉 |
| 教育支援センター長       | 開 発 克 久 |
| 社会教育課長（兼公民館長）   | 伊 藤 英 司 |
| 文化財課長           | 工 藤 義 衛 |
| 厚田生涯学習課長        | 相 原 真 一 |
| 浜益生涯学習課長        | 成 田 和 幸 |
| 学校給食センター長       | 近 藤 和 磨 |
| 生涯学習部参事（指導担当）   | 山 田 潮   |
| 総務企画課主幹         | 松 永 実   |
| 総務企画課総務企画担当主査   | 扇 武 男   |
| 同上              | 古 屋 昇 一 |

### ○傍聴人 1人

## 議事日程

### 日程第1 署名委員の指名

### 日程第2 議案審議

議案第1号 令和元年度一般会計予算（第5号補正）について

### 日程第3 教育長報告

### 日程第4 協議事項

- ① 令和2年度教育委員会予算要求について
- ② 新・石狩市教育プラン（原案）について

### 日程第5 報告事項

- ① 令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載に係る同意について
- ② 令和元年度石狩市教職員研修「ウィンターセミナー」について
- ③ 令和2年石狩市成人式の開催について

### 日程第6 その他

- ① 「第9回科学の祭典in石狩」の開催について

### 日程第7 次回定例会の開催について

---

## 開会宣言

（佐々木教育長）ただ今から、令和元年度教育委員会会議11月定例会を開会いたします。本日は松尾委員から欠席の連絡がありましたので、ご報告いたします。

### 日程第1 会議録署名委員の指名

（佐々木教育長）日程第1 会議録署名委員の指名ですが、山本委員にお願いします。

## 日程第2 議案審議

(佐々木教育長) 日程第2、議案審議を議題とします。

### 議案第1号の審議を非公開とする件について

(佐々木教育長) 日程第2、議案審議を議題といたします。議案第1号「令和元年度一般会計予算(第5号補正)について」は、石狩市教育委員会会議規則第15条第1項第4号に該当いたしますので、非公開案件として後ほど審議をしたいと思います。ご異議ありませんか。

異議なし

(佐々木教育長) 異議なしと認め、非公開とすることに決定いたしました。

## 日程第3 教育長報告

(佐々木教育長) 次に、日程第3 教育長報告を議題とします。11月定例会での報告につきましては、別紙でお配りしています。ご質問などがあれば受けたいと思いますが、いかがですか。

(門馬委員) 11月3日に「市民文化祭浜益会場」とありますが、例年に比べて今年の状況はどうだったのでしょうか。

(成田浜益生涯学習課長) 今年は参加者総数150名で開催し、展示部門とステージ部門のプログラムを実施しました。出演者、出展が若干減少している傾向ではありましたが、今年も和やかな雰囲気を実施しています。以上です。

(門馬委員) わかりました。

(佐々木教育長) 他に質問等はございませんか。

(門馬委員) もう一つお聞きしたいのですか。11月11日「セーフティコールの日、交通安全街頭啓発」とあるのですが、セーフティコールとはどういう意味でしょうか

(佐々木教育長) 11月11日は、交通安全の一環で街頭啓発を行いました。コールは、コール&レスポンス(呼びかけと応答の意)の略で、内容としては、市内各団体の代表者が来ていて、札幌北警察署の署長のお話し後、街頭啓発を行いました。教育委員会としては、事務局の他に市内校長会からも多数参加しています。

(門馬委員) セーフティコールとは、交通安全を呼びかけるという意味なのでしょうか。

(佐々木教育長) そういう意味となります。

(門馬委員) わかりました。

(佐々木教育長) 他に質問等ございませんか。

質問なし

(佐々木教育長) 質問等がないようですので、教育長報告については了承ということによろしいですか。

異議なし

(佐々木教育長) 異議なしと認め、教育長報告については了承をいただきました。

(佐々木教育長) 以上で、日程第3 教育長報告を終了いたします。

#### 日程第4 協議事項

協議事項① 令和2年度教育委員会予算要求についての協議を非公開とする件について

(佐々木教育長) 協議事項①「令和2年度教育委員会予算要求について」は、石狩市教育委員会会議規則第15条第1項第4号に該当いたしますので、非公開案件として後ほど協議をしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

異議なし

(佐々木教育長) 異議なしと認め、非公開とすることに決定いたしました。

## 協議事項② 新・石狩市教育プラン（原案）について

(佐々木教育長) 次に、協議事項②「新・石狩市教育プラン（原案）について」、事務局から説明願います。

(古屋総務企画担当主査) 私から10月定例会でお示した石狩市教育プラン（原案）について、前回は継続協議となり、今回新たに11月12日付の石狩市教育プラン（原案）をお配りしていますので、これに沿ってご説明します。別冊資料の12頁をご覧ください。前回でお示したのから変更になった部分を中心に説明いたします。

まず、成果指標については、全部で37の成果指標をそれぞれの取組の下部に掲載しています。前回から変更となっている部分では、12頁主な取組の黒点の3番目、「定着を一層確かにする工夫1校1プラン学力の充実の策定」となっていたところを「・・・策定と実施」としています。次に、13頁には成果指標を載せていますが、CRT標準学力調査の部分については、こちらの指標の目標の他に、下部の注意書きで「上記の目標と合わせて同一母集団で前年度全国比を上回ることを目指す」というような注釈を入れています。13頁の下部も同様にCRTの部分なので、そちらを掲載しています。次に14頁目、算数・数学のCRTの成果指標について、こちらも同様に掲載しています。15頁施策7、手話を通じた学びの推進の部分ですが、成果指標のところで目標として全校で実施する形にしています。17頁目施策10、学校を核とした地域作りの部分で主な取組として、「コミュニティ・スクール導入による地域一体の学校運営」を、18頁の「開かれた学校づくりの推進」と合わせた形の取組としています。19頁目施策14、「学びの段階間の連携、接続の推進」の部分で、主な取組で、「中1ギャップの解消を目指した小・中の連携」を加え、スタートカリキュラムの部分で表記を、「スタートカリキュラムの実施に係る幼・保・小の連携」という形に変えています。成果指標については、スタートカリキュラムに関する成果指標も掲載するのか検討い

たしましたが、こちらは既に全校で行われていて、その内容を充実させるという指標の設定が困難であったため、掲載せずNo. 19の一点の指標としています。続きまして20頁目、「学校運営の改善」ですが、こちらの成果指標については、1ヶ月あたりの時間外勤務時間が45時間を越える教員の割合としていて、現時点で集計されていない数値なので、集計を開始し、令和2年度の実績値よりも割合を下げていくという指標としています。次に施策16、「学校安全教育の充実」の部分で、主な取組の黒点の1番下部、学校・地域・家庭でのあいさつ運動の実施を加えています。安全教育についても、全校それぞれ避難訓練や安全教室を行っているところで、既に100%となり成果指標を設定することが難しいため、こちらは指標なしといたします。22頁施策19、体験活動の推進ですが、前回では「情操教育の充実を図る」を挙げていましたが、後ほどの施策25の芸術・文化の方が合致しているのでそちらへ変更しています。変更した部分が学校や地域における多様な体験活動の推進を図るという方向性を示し、主な取組として、児童館を拠点とする子ども達が主体的に取り組む体験活動の充実、具体的には、農村体験やけん玉チャレンジなど子ども達が企画して行っている取組を掲載しています。次に26頁の部分ですが、先ほどの体験活動の部分の変更に伴って、施策25で情操教育の充実を図るという方向性を入れて、それに伴った取組である「各種コンクール」、「検定等への応募の奨励」、「あい風コンサート The music」、「情操教育プログラムの開催」を掲載して、成果指標の部分についても、情操教育プログラムなどの回数を指標として挙げています。最後に27頁ですが施策27、ふるさとを学ぶ機会の充実で、主な取組に「総合的な学習の時間の活用」という部分を加えています。前回から変更のあった部分は以上となりますが、今後軽微な変更などがあった場合には事務局で修正し、その都度委員の皆様にお示しして、12月に予定しているパブリックコメントまでには、修正を加えていきたいと考えています。私からは以上です。

(佐々木教育長) ただいま事務局から説明がありました。この件についてご質問等があればお願いします。

(門馬委員) 質問ではありませんが、新・プランの内容をみて、前回のプランと比べると、市長部局との連携と言いますか、地域家庭の中での子ども達の暮らしにも注目し、「一緒になって子どもを育てていこう」ということが施策の中に入っていて、これも良いものだと思います。また、市長部局と総合教育会議が開催されていますが、そういったことがこのプランの中でも反映されて、良かったとの感想を持ちました。以上です。

(佐々木教育長) 他に質問等はありませんか。

(穴水委員) 成果指標の中で、全国学力・学習状況調査とC R T標準学力調査と二つの調査の結果が入ってきているんですが、二つの調査の差はどのように把握されているのか、どの程度の違いがあるのかわかりましたら教えてください。

(山田指導担当参事) 全国学力・学習状況調査については、対象学年が小学6年生、中学3年生であり、C R T標準学力調査については全学年、中学2年生まで実施しています。C R T標準学力調査と全国学力・学習状況調査の相関を事務局で見ながら状況を把握しています。そういった意味での差といいますか、状況の違いを見えています。以上です。

(穴水委員) そのことを踏まえて、成果指標をところどころ変えているという、認識でよろしいですか。

(山田指導担当参事) ※印にもありますように、全国比を上回るか上回らないかという結果について、全国学力・学習状況調査とC R T標準学力検査の両方で相関関係を見ながら行っていくという意味で、二つの調査としています。

(佐々木教育長) よろしいですか。

(穴水委員) はい。

(佐々木教育長) 他に質問等はありませんか。

質問なし

(佐々木教育長) 質問がないようですので、協議事項②について了解ということでもよろしいでしょうか、また、この内容で12月にパブリックコメントを実施いたします。ご異議ございませんか。

異議なし

(佐々木教育長) ご異議なしと認め、協議事項②については了解いたしました。

## 日程第5 報告事項

(佐々木教育長) 次に日程第5、報告事項を議題といたします。

### 報告事項① 令和元年度全国体力・運動能力運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載に係る同意について

(佐々木教育長) 報告事項①「令和元年度全国体力・運動能力運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載に係る同意について」、事務局から説明願います。

(山田指導担当参事) 資料の2頁をご覧ください。道教委が作成する令和元年度体力・運動能力、運動習慣等調査北海道版結果報告については、学校・家庭・地域・行政が本市の児童生徒の体力の課題を共有し、体力・運動能力等の状況改善に一丸となって取り組む目的から、昨年度と同様に同意することをご報告します。

次に、10頁をご覧ください。今後のスケジュールが掲載されています。来年1月頃に道教委から市教委への報告が予定されているということも付け加えたいと思います。以上です。

(佐々木教育長) ただ今の説明につきまして、ご質問等ございますか。

質問なし

(佐々木教育長) 質問等がないようですので、報告事項①については了解ということによろしいですか。

異議なし

(佐々木教育長) 異議なしと認め、報告事項①については了解といたします。

### 報告事項② 令和元年度石狩市教職員研修「ウィンターセミナー」について

(佐々木教育長) 次に報告事項②「令和元年度石狩市教職員研修「ウィンターセ



ミナー」について」、事務局から説明願います。

(山田指導担当参事) 資料15、16頁をご覧ください。12月25日(水)ですが、13時30分から15時40分まで、りんくるにおいて、教職員経験8年目以下の市内の小中学校の全教職員を対象に実施します。本研修の目的ですが、目的1に書かれている通りです。前段の講義1については、変化の時代に生きる教職員に求められていることをテーマに、市内在籍の主幹教諭2名による提言を行い、後段の講義2については、小中教諭、養護教諭、それから栄養教諭、事務職員のグループを作り、経験者から提言をいただきながら、その提言に基づいた協議を行う流れで考えています。以上です。

(佐々木教育長) ただ今の説明について、ご質問等ございますか。

質問なし

(佐々木教育長) ご質問等がないようですので、報告事項②については了解ということよろしいですか。

異議なし

(佐々木教育長) ご異議なしと認め、報告事項②を了解といたします。

### 報告事項③ 令和2年度石狩市成人式の開催について

(佐々木教育長) 次に、報告事項③「令和2年度石狩市成人式の開催について」、事務局から説明願います。

(伊藤社会教育課長) 私から報告事項③について報告します。資料の17頁をご覧ください。成人としての節目を迎える新成人を祝福することを目的に、成人式を開催します。主催は石狩市及び石狩市教育委員会、期日は令和2年1月12日(日)、会場は花川北コミュニティセンターです。なお、前回、本年1月に実施しました成人式については、祝日である「成人の日」の当日に行っていましたが、より多くの方に参加いただき、また、参加される方がより参加しやすい環境とするため、今回から「成人の日」の前日に実施することとしています。なお、対象者に対する周知については、石狩市広報及び石狩市のホームページ、あいボード

の他、5月1日現在の対象者に5月下旬に直接郵送で、変更した旨の周知を行っているところです。対象者については、11月1日現在の数字で、512名ですが、今後転入等で変わっていくものと思います。なお、過去5年の対象者数については下段に記載のとおりですが、昨年と比較すると40名ほどの減となっています。日程については、14時から開会し、式典およそ1時間弱、その後記念写真の撮影を行い終了の予定となっています。なお、新成人への開催案内については現在データ抽出が終わり、11月下旬に対象者へ案内を郵送する予定としています。以上です。

(佐々木教育長) ただ今の事務局からの説明について、ご質問等ございませんか。

質問なし

(佐々木教育長) 質問等がないようですので、報告事項③については了解ということによろしいですか。

異議なし

(佐々木教育長) ご異議なしと認め、報告事項③を了解といたします。

## 日程第6 その他

(佐々木教育長) 次に、日程第6、その他を議題といたします。これについては事務局から2件あります。まず1件目ですが、「第9回科学の祭典in石狩」の開催について、2件目は前回定例会で十分な審議が行えなかった、平成31年度全国学力・学習状況調査について、この2件でございます。それでは、「第9回科学の祭典in石狩」の開催について、事務局から説明願います。

(東市民図書館長) 私からその他①について説明します。お手元のカラーのチラシをご覧ください。今年については、11月24日(日)10時～15時の時間であいぼーとと市民図書館にて実施する運びとなっています。今年については、昨年の21を大きく上回る30のブースの出展、そしてこれまで好評であった「はたらく車ブース」、そして今回からの初の試みで、北海道科学大学の松崎教授をお呼びした「メインステージ」、そしてこれも今回からなのですが、地元の新港企業の施設見学ということで最先端の物流会社の株式会社エースさんを見学することとな

っています。このように魅力ある祭典にしたいということで取り組みを進めていますので、是非お時間を見つけてご来場いただければと思います。どうぞよろしくをお願いします。

(佐々木教育長) ただ今の事務局からの説明について、ご質問等ございませんか。

(佐々木教育長) 私からこの企業見学ツアーは、それぞれが直接現地の会社に行く形になりますか。

(東市民図書館長) 事前に申込を受けて、バス等で移動する形となります。

(佐々木教育長) 他に質問等ございませんか。

質問なし

(佐々木教育長) 質問等がないようですので、その他の①については了解といたします。

(佐々木教育長) 次に、「平成31年度全国学力・学習状況調査の結果について」、資料の説明については前回の定例会で終了していますので、質問等をお受けいたします。いかがでしょうか。

(門馬委員) 1頁目に、結果の集約が書かれているのですが、石狩管内の他市町は全国平均を上回っているのに、残念ながら石狩市は全国平均に届かなかった、このことの原因がここに書かれていると思います。児童生徒質問紙の答えの中で、二行目にある、朝食摂取、起床時間就寝時間等の基本的生活習慣について、もう一度見直す必要があり、また、家庭での学習時間、読書時間の不足が課題となっています。授業、つまり学校にいる時間については、先生方が本当に一生懸命になって授業改善の工夫をしたり、あるいは休み時間、給食の時間に個人個人の指導をしたり、大変な努力をされていることを我々も理解しています。しかし、問題なのは学校を終えた後の家庭での学習時間が不足しており、それが課題だと思います。これらについて、石狩の子ども達の過ごし方と管内他市町村の過ごし方と違いがあるのでしょうか。事務局ではこういうことを調査したことはありますか。それとも調査することは非常に難しいことなのでしょうか。

(山田指導担当参事) 現在の管内における家庭学習の状況というご質問ですが、

先日道教委から北海道版が提出されていて、子どもが目にするものはそれが唯一のもので、具体的にそれぞれの項目について、どのくらいの数値であるのかといったところについては、事務局としては把握していないといったところです。

(門馬委員) ということは、なかなかその原因・理由を知るのは難しいことなのでしょうか。つまり学校内のことは先生方を通じて把握可能と理解していますが、いざ家庭のこととなると、我々の手が及ばないということでしょうか。しかし、そこが子ども達の学力がアップする要因になるのではないかと思います。家庭学習の状況を知るといったことは、やはり難しいのでしょうか。

(佐藤教育指導担当次長) 家庭での生活習慣についてですが、本市では早い時期から導入している「生活リズムチェックシート」を、年3回あるいは、4回行っている学校もあります。その中で「何時に起きましたか」、「朝食は食べましたか」、「何時間学習しましたか」等の調査をしながら保護者の意識を高めようということで、継続をしているところですが、全国学力・学習状況調査結果を見ると、なかなか結果が伴っていないこととなります。家庭での学習時間も管内他市町村と同じように学年×10分、あるいはプラス10分という目安も同じように実施していますが、生活習慣が望ましい状態ではない実態があります。

(門馬委員) わかりました。

(穴水委員) 関連してよろしいですか。いわゆる全国平均を上回る学校は小学校12校中5校、中学校8校中2校という数字が示されています。この差というのは、学校規模・指導方法・地域や家庭の違い、こういったものは感じられるのでしょうか。それがまず一点です。

(山田指導担当参事) 先ほど次長からも説明がありましたが、本市においては管内他市町村との大きな違いは見られず、どの学校も授業改善に真剣に取り組む、生活習慣、家庭学習等の改善へ再度取り組んでいただきたいと思います。

(穴水委員) 現実には小学校12校中5校で全国平均を上回り、7校が平均を下回っています。しかもこの7校は、平均すると全道平均でも下回っています。また、中学校8校中2校ということは、残り6校は平均を越えられないという状況にあります。その学校間の比較、平均を越えた学校と越えていない学校との比較をされていますか。平均を越えた学校と越えていない学校との、この差はどこにあるのでしょうか。

(佐藤教育指導担当次長) 委員のお話のとおり、本市の大規模校ではなかなか成果が上がらないところが見られます。逆に中規模校は、このような取組をすれば成果が上がるといことが大分波及しまして、以前は平均を超える学校は一つもなかったところを、少しずつ見えてきたところでは。このことから本市の大規模校で、今の取組をどれだけ徹底させられるかということと、ただ今、委員のお話にもありましたが、小学校の段階では全国平均を上回る校区なのに、中学校の段階では下回ってしまうのは何故だろうということを議題にしなが、次年度の方針を立てているところでは。

(穴水委員) 一般的に、例えば道教委で公表しております管内の平均正答率の分布という表があるのですが、これで見ると、小学校国語、小学校算数で、14管内で見ますと石狩管内より上を行っている管内が結構あります。例えば小学校の国語で言いますと、トップは留萌管内、2番手は渡島管内、3番手が釧路管内、4番手が檜山管内、5番手が上川管内です。この5つの管内は全国平均を越えています。しかし、石狩管内の小学校は全国平均を超えておりません。また、算数も同様です。北海道では小学校算数は、全国平均を超えている管内は一つもない状況です。全道平均を超えるトップが上川管内ということでは。

中学校へ目を移してみると、石狩管内は中学校ですべてのテスト、国語・数学・中学英語の「聞くこと」「読むこと」「書くこと」で、石狩管内は全国を超えています。石狩管内では、小学校ではさほどでなくても、中学校へ行くと全国平均を超えています。他の管内では必ずしもそうではないのですが、石狩市も石狩管内なので、中学校で全国平均を上回るようにとまでは言いませんが、少なくとも全道平均を上回るくらいに頑張っていたかと思ひます。こういった資料を見せていただくと、いったいどこに問題があるのか、こういう状況ですと石狩市の中学校卒業生は高校進学において、大きなハンディキャップを背負っていると考えざるを得ないです。対応を見ると例年との差は感じられない。例年と同じようなことをやって来て、全国平均を上回れないものが、例年と同じような取組をして、来年度上回れるようになるのかとも思ひます。この状況を管理職だけでなく、教員一人ひとりが把握し理解しているのか、その辺を事務局としてどう把握しているのか、わかることがあればお聞かせください。

(佐々木教育長) 要するに学校の現状を、一般教員がどこまで把握しているのかということですね。

(山田指導担当参事) 全国学力・学習状況調査の実施後、まず、それぞれの学校

にて自己採点を行います。そして正式な解答を得て、自分の学校ではどこが弱いのか、例えば算数・数学、または、国語のどの領域が弱いのかといったことを、校内で研究あるいは研修等の時間を使って、振り返り検証するというを行っている学校がほとんどです。全国学力・学習状況調査の結果については、ホームページあるいは学校だよりで地域の方にお知らせをしているという形です。以上です。

(穴水委員) 併せて、ここにいただいた資料の中にレーダーチャートがあるのですが、非常に歪な形となっています。小学校算数の「量と測定」のところが大きくへこんでいます。中学校では英語の「書くこと」「読むこと」、数学の「資料の活用」「関数」ですが、こういった部分が大きくへこんでいます。石狩管内全体で見ると全国平均を超えていますから、このような歪な形にはなっていません。ところが石狩市の場合は歪になっています。私が見た範囲内では、石狩管内で北にある石狩市と南にある千歳市が歪なレーダーチャートを示しています。ということは、指導にどこか問題があるのか、それとも教員の配置等に問題はないのか、その辺は少し疑問に感じているところです。これは意見ですから、回答は必要ありません。

(佐々木教育長) ただ今、ご意見をいただきました。このことについては、教員の人事異動なども関連しますので、石狩市教育委員会だけで対応できる問題ではないと思いますが、そういうご意見を受け止めながら進めて行きたいと考えています。

(山本委員) 子どもを通わせている側からの感想を言いますと、環境が悪いとか教え方が悪いとは思ってはいません。先生方はとても一生懸命教えてくださっています。ただ、やはり家庭に帰ってからは、他市とは違うのかなとの印象があります。私のママ友ネットワークで言いますと、石狩市の他のお母さんと話をしていきますと、あまり教育について口うるさくとか、熱心に毎日塾に通わせたいと思っているお母さんは多いわけではなく、札幌など他市のお母さんは毎日塾に通わせて当たり前だと思っている方が多いですし、子どもを塾に通わせないで家に置いておいても、「遊ぶ仲間がないから」と子ども自身が塾に行くと言い出す、そういう子どもは他市には多い感じがします。石狩だったら、「塾に行きなさい」と言ったら「それじゃあ友達と遊べなくなるから嫌だ」というような、石狩にはそういうのんびりした良さもある反面、全国学力・学習状況調査のようなテストをすると、そういう結果が現れてしまうのかなと思います。ご両親の意識からして差があるのかなと思います。そこを改善するには年数もかか

るとは思いますし、意識のことだから難しいとは思いますが、決して学校だけの問題ではないかなと思います。以上です。

(佐々木教育長) 先ほどの門馬委員のお話にもありましたが、学校から帰ってからの過ごし方に問題があるということでしたが、我々は学校の中だけでできることを考えればいいのかという訳ではないので、家庭とどう連携をし、子ども達を引き上げられるのかを考えていかなければならないと思います。

(佐々木教育長) 他に質問等ございませんか。

質問なし

(佐々木教育長) 他に質問等がないようですので、「平成31年度全国学力・学習状況調査の結果について」は、了解ということでよろしいですか。

異議なし

(佐々木教育長) ご異議なしと認め「平成31年度全国学力・学習状況調査の結果について」は、了解いたしました。

(佐々木教育長) その他について、教育委員の皆さんから何かありますか。

(穴水委員) 二点ほどお願いしたい点があります。一点目は、「石狩市の部活動の在り方に関する方針」についてです。これは過日決定したことなので、内容等について言うものではございませんが、この「石狩市の部活動の在り方に関する方針」を出されることは、OECD加盟国の中で教職員の勤務時間が最長であることを踏まえて、教職員の働き方改革の観点からは非常に良いことだと思います。この方針によって、中学校の部活動が制約を受けることとなりますが、その一方で道教委は、部活動指導員の登録制度を進めていまして、この制度を利用して学校から市教委に要請があった場合、市教委としてどのように対応されるのか、お聞かせください。

(佐々木学校教育課長) ただ今の穴水委員からのご質問ですが、道が行っている部活動指導員の任用の募集に対して、登録された方に部活動指導員を依頼する場合、まずは学校が希望する人材が登録されているかの確認を含めて、市教委から道への照会がまず必要になります。その後、登録者と学校のマッチングが成立

した場合に市教委の任用基準で雇用を行うということになります。今回、来年度の予算編成のため、市内中学校の部活動指導員の任用について各校に確認いたしました。現時点では配置を希望する学校がございませんでしたので、来年度については道の登録制度の利用はないと市教委では認識しております。

(穴水委員) 来年度の状況はわかりました。それでは再来年、3年後はどうなるのかという話になりませんか。

(佐々木学校教育課長) 部活動指導員制度については、この方針の中でも学校の希望を聞いたうえで、進めるよう示されており、この方針を作成して終わりということではありません。毎年の予算編成時期に、学校の状況を確認しながら対応を行っていきたいと考えています。

(穴水委員) 基本的には学校から希望があれば対応を考えるということによろしいですか。

(佐々木学校教育課長) はい。

(穴水委員) もう一点あります。これは質問ではなくお願いなのですが、過日宮城県石巻市立大川小学校の児童の遺族が起こした訴訟ですが、最高裁は、市や県の上告を退けて遺族が勝訴確定したということがありました。この中で、キーワードが2点あります。第一に、事前防災で平常時における危機管理マニュアルの整備です。特に避難場所、避難経路、方法等が重要で、この点については石狩市立の各小中学校において問題ないということで事務局から回答をいただいています。第二のキーワードとして、事前協議が読み取れること、というのがあります。これは学校と保護者との間で児童をいつどのような方法で安全に引き渡すか事前に話し合い、周知しておく必要があったと判決では指摘しています。緊急時を想定した保護者との情報共有が問われていることになります。この点において、石狩市立の各小中学校においては、一部の学校で整備されている状況とのことでしたが、全ての学校で整備すべきことであると思いますので、是非早急にお願ひしたいと思ひます。

(佐々木教育長) ご意見をいただきありがとうございます。実はこの大川小学校の訴訟の件は、この前の全道の都市教委連教育長会議の中でも話題になりました。マニュアルと事前の対応について、我々が想定したものよりも重い結果になったと、参加した全教育長が認識しております。やはりそれぞれで対応を考えな



ければならないということになりました。いざという時に慌てないように進めていかなければと思っています。

(穴水委員) 最高裁判例ですから、これ以上のものは出てこないと思いますが、当然学校だけではなく、教育委員会も責任を問われますので、是非早急にお願いしたいと思います。

(佐々木教育長) はい。わかりました。

(佐々木教育長) その他ございませんか。

その他なし

(佐々木教育長) 以上で日程第6、その他を終了いたします。

#### 日程第7 次回定例会の開催日程について

(佐々木教育長) 日程第7、次回会議の開催日程を議題といたします。次回は12月24日(火)、13時30分からの開催ということでよろしくお願ひします。

以上をもちまして、公開案件の審議は終了いたしました。

これより非公開案件となりますので、説明員以外の方はご退席願ひします。

---

【非公開案件の審議等】  
14時23分 ～ 14時47分

---

#### 閉会宣告

(佐々木教育長) 以上をもって、11月定例会の案件は全て終了いたしました。これをもって、令和元年度教育委員会会議11月定例会を閉会します。

閉会 14時47分

【非公開案件の審議等の結果】

議案第1号 令和元年度一般会計予算（第5号補正）について

原案どおり可決した。（質疑等省略）

協議事項① 令和2年度教育委員会予算要求について

原案どおり了解した。（質疑等省略）

会議録署名

上記会議の経過を記録し、その相違ないことを証するため、ここに署名します。

令和元年12月24日

教育長

佐々木隆哉

署名委員

山本由美子